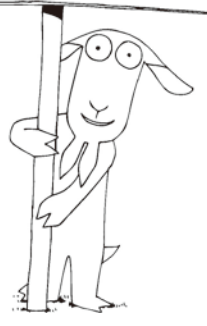


「伝えるコツ」を
身につけよう



(※)NPO 広報力向上委員会とは…
NPOの広報力が向上することにより、日本のさまざまなNPOの活動が、もっと広がり、もっと盛り上がることを願って立ち上げられた会です。広告会社としてコミュニケーション領域を専門とする電通と、社会の課題に取り組むNPOのメンバーによって構成されています。

日 時：2011年11月26日(土) 11:00~18:00(予定)
場 所：松阪商工会議所 第2研修室 (松阪市若葉町161-2)
主 催：NPO法人Mブリッジ(松阪市市民活動センター指定管理者)
共 催：松阪商工会議所、松阪市社会福祉協議会
協 力：NPO広報力向上委員会、日本NPOセンター、電通
※参加費、講師、定員など詳細は追ってチラシや当センターホームページ、ブログ、ツイッターなどでお知らせします。

緊急告知 NPOのための 広報スキルアップセミナー **開催決定**

「さまざまなNPOの方からも、広報やコミュニケーションがなかなかうまくいかない、といったお話をよく聞きます。会報やチラシ、ポスター、WEBサイトなど、もっとうまく作るにはどうすればいいんだろう?と。」

電通とNPO 広報力向上委員会(※)が全国で展開する、NPOのための広報スキルアップセミナー「伝えるコツを身につけよう」を松阪で開催することが決定しました。本紙をご愛読いただいている皆様にも少しでも早くお伝えしたくて取り急ぎ告知させていただきます! NPO団体の他、企業のCSR担当の方にも是非ご参加いただきたいと思います。このセミナーを通じて、NPOと企業とのコラボレーションが実現することを願います。

市民活動支援情報

● 読売福祉文化賞2011年

【申込受付期間】平成23年9月30日(金) ※当日消印有効
【助成対象】障害者や高齢者の暮らしやすい環境づくり、自立支援、社会参加、共生の推進などに貢献している団体および個人
【助成金額】・一般部門 3件/各100万円 ・高齢者福祉部門 3件/各100万円
応募方法、その他、詳しくはホームページをご確認ください → <http://www.yomiuri-hikari.or.jp/work/report/prize.htm>
【問い合わせ】読売光と愛の事業団・読売福祉文化賞事務局 TEL 03-6226-7633

読売図書三重県一を
私たちと一緒に
私たちに一緒に
目指しませんか? 作るみんなの

書籍の森

ご協力ありがとうございます。
引き続き書籍の寄贈を募集中です。 **NPO、ボランティア、まちづくり、NGO、CSR資料**

当センターは新たに生まれる市民活動団体に活用していただくため書籍リサイクル運動「書籍の森」を実施中です。あなたの本棚に眠る使用済みのNPO書籍を次の世代に役立ててください。
【募集書籍】

ちょこつと編集後記.....
読者の方から嬉しいお話を聞きました。その方は、前号の取材記事がきっかけで東日本大震災復興支援の会三重の存在を知り、復興支援の講演を依頼。そして講演会を開催するに至ったそうです。[M]

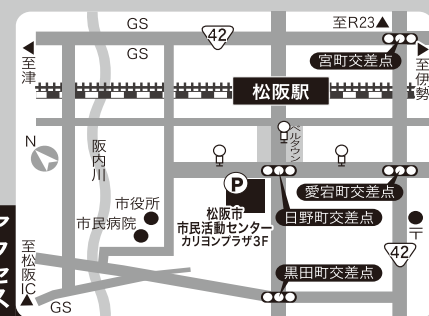
松阪発信! 市民活動の情報紙 **アロマ** 次号は2011年10月中旬以降の発行予定です。募集・イベント・事業案内など、共有したい情報をお持ちの方は、「アロマ掲載希望」の件名で「タイトル・趣旨・内容・日時・場所・問合せ先」などをご記入の上、松阪市市民活動センターまでE-mail かFAXにて送付してください。次回の原稿締切は2011年9月30日(金)です。 担当/澤・三上

松阪市市民活動センター 〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F 月曜~土曜日/10:00~22:00
松阪駅下車(JR側)、徒歩5分 カリヨンプラザ駐車場あり(屋上) 会議室利用時間に限り無料 ラウンジ利用は2時間まで無料

TEL 0598-25-3801 (予約専用) 0598-26-0108 FAX 0598-25-3803 E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

利用	会議室	機材等
	大会議室.....机10 椅子30 (600円) 小会議室1...机4 椅子12 (150円) 小会議室2...机6 椅子18 (200円) 小会議室3...机4 椅子12 (150円) 料金は1時間。大小会議室の組み合わせ可。外会議室.....机8 椅子24 (400円)	印刷機(紙持込) / コピー機 マイク / プロジェクター 他 会議室・機材等はセンターに団体登録されることで利用可能です。 利用申込 申請書類は窓口でご記入いただくかお電話にて予約後、ご提出ください。

▼ 松阪市市民活動センターホームページ <http://www.katsudou.com>
▼ 市民活動情報サイト(登録団体の情報、会議室の空き情報) <http://genki365.net/gnkm/customer/matsusaka/>



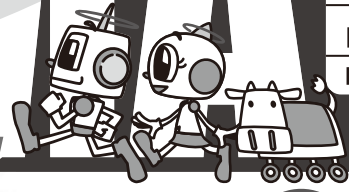
松阪発信! 市民活動の情報紙

発行 松阪市市民活動センター

AROMA

A Resident Of Matsusaka Activity

〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F
開館 月曜~土曜日/10:00~22:00
(予約専用)
TEL 0598-25-3801
0598-26-0108
FAX 0598-25-3803
E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp



~アロマ~ No.36

編集者 "1"の
ちよつと気になる
団体や



三重支部長: 喜畑 伸介さん

今号は... 特定非営利活動法人 日本ファイナンシャル・プランナーズ協会三重支部 さんです

近年の経済や生活環境は大きく変化し、将来に向けた「生活設計」や「資産運用」という言葉を耳にする機会が多くなっている。今回は全国に50の支部を持つ「日本ファイナンシャル・プランナーズ協会」の“三重支部”の代表、喜畑雄介(きはたゆうすけ)さんにお話を伺った。三重支部は2000年に発足され、「広く一般に向けたファイナンシャル・プランニングの啓発と普及、担い手の養成」を目的とし、この活動を通じて国民生活の質の向上に努めている。

三重支部は「生活設計・資産運用・保険・相続」など、一般の生活者に向けた無料の相談会やセミナーを県内各地で定期的に開催している。セミナーにはテレビやラジオで活躍している講師を招き、その知名度と内容のわかりやすさから多いときは100人以上の参加者が集まるといふ。また、協会会員を対象とした勉強会を開催しており、会員のスキルアップにも余念がない。各支部内には協会が認定したSG(スタディ・グループ)と呼ばれる地域グループがあり、松阪地域ではSG松阪(※1)が当センターにて毎月1回、土曜日に勉強会を開催している。

※1:三重県内には5つのスタディ・グループがある。SG桑名FPネット(桑名市・いなべ市・桑名郡)、四日市SG(四日市市)、SG三重中央FP(津市・鈴鹿市)、SG松阪(松阪市・周辺の中南勢地域)、SGFP伊賀(伊賀市・名張市)

被災地での活動の気づきをもとに、次回の無料セミナーは“万一の災害に備えて”という思いから近年の台風や昭和東南海地震によって大きな被害を受けた紀北町で開催される。三重支部は活動を続けて11年目。「地域間の差はあるが県内でのファイナンシャル・プランナーの認知度はまだまだ低い」と喜畑さんは語る。また三重支部として「一人一人がお金に対する意識を高め、課題の整理に取り組み、将来の対策を立てるファイナンシャル・プランニングがこれからの時代は不可欠だ」と発信し続けている。これからの人生設計と対策を改めて見直すためにも、三重支部が取り組む「FPフォーラム」などの無料のセミナーや相談会を利用してみてはいかがだろうか。



昨年の松阪産業振興センターで実施されたFPフォーラムの様子

同協会は東日本大震災の被災地支援として、東北地方を総括している「東北ブロック」が現在も継続して相談業務や情報紙の配布、フリーダイヤルでの相談受付などを行なっている。これとは別で喜畑さんは被災地へのボランティア活動へ独自に参加。現地の人たちとのふれ合いや会話の中で、お金のまつわる様々な問題があることを知った。例えば、仮設住宅に入居する条件として、食料や物資の供給が原則的に行われなくなり、光熱費なども自己負担となる。そのために経済的に圧迫され、今後の生活に不安をかかえる人が多い。こういった問題に対して喜畑さんは「自分たちの専門的な知識が問題の解決に活かせるのではないかと」また、「今回のような災害が起こる前に生活設計などのアドバイスを行なうことが支援に繋がるのではないかと」、気づいたようだ。

セミナー&相談会のおしらせ

【三重FPフォーラム2011 in 紀北】
●日 時 2011年9月4日(日)
●時 間 13:30~15:30
●場 所 紀北町立海山公民館研修室 (北牟婁郡紀北町海山区相賀481-2)

【第24回 なんでも相談会】
●日 時 2011年10月1日(土)
●時 間 13:00~16:00
●場 所 松阪商工会議所1F 大ホール (松阪市若葉町161-2)

両日とも
入場無料・予約不要

昨年の「なんでも相談会」の様子

特定非営利活動法人 日本ファイナンシャル・プランナーズ協会三重支部 へのお問い合わせは...
TEL: 0598-50-3558 (代表: 喜畑さん)
URL: <http://www.jafp.or.jp/shibu/mie>

市民で作る“楽市楽座” 七夕まつり・鈴の音市 今年もたくさん絆が生まれました!

報告 市民で作る“楽市楽座”
七夕まつり・鈴の音市

東北へ届けます!
絆
みんなの思い

8月6日(土)、今年も当センターは「七夕まつり・鈴の音市」に出店しました。センターのブースでは、登録団体の社会貢献活動を紹介する「団体アピール掲示板」や、松阪ケーブルテレビの行政チャンネルで放送している「市活ナビ」の上映の他、わた菓子の販売、募金活動などを行いました。この日のわた菓子の売上げの半分は東日本大震災の被災地への募金とさせていただきます。

また、「被災地への思い」を忘れず持ち続けていこうと寄せ書きする取り組みも行いました。「絆」と書かれた白い布には、「がんばろう東北!」「松阪から祈ってます!」など来場者からたくさん



の思いが寄せられました。この寄せ書きは登録団体「東日本大震災復興支援の会三重」さんが被災地の子どもたちを迎え開催する交流会で掲示していただきます。また、当センタースタッフが現地に向いて参加する復興イベントに持参する予定です。

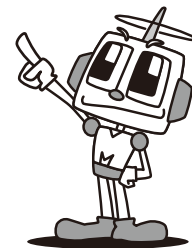
昨年に引き続き登録団体のブース出店、ステージ出演を支援する「アピールチャレンジ事業(※1)」を実施。今年も「特定非営利活動法人松阪「障害」者労働センター・ポケットハウス」と、「NPO 法人日本福祉タクシー協会三重支部」さんの2団体の支援を行いました。また、昨年のアピールチャレンジ事業の支援団体や、当センターの登録団体も独自に出店されており、それぞれの活動をアピールしていました。こうしたお祭りへの出店は普段とはちがうアピールができるチャンスです。どんどんアピールして、今後の活動の幅を広げていただきたいと思います。



※1: アピールチャレンジ事業…センター登録団体向けのアピール力支援事業。鈴の音市などのブース出店までの流れをこのサポート事業で体験してもらい、アピールする楽しさを学んでもらう。また、来年度以降はこの経験をもとに独自に出店していただき、街の賑わいづくりに貢献してもらおうことを目的としている。



「アピールチャレンジ事業」に参加した2団体です。



昨年度の「アピールサポート事業」で支援した3団体です。今年も独自に出店しました!

パレルズ A BARRELS & ハピックス 松阪マジッククラブ 南勢ユニオン

団体交流会がきっかけで出店が実現! 昨年からの連続参加! マジックの楽しさを伝えます。 相談受付や署名活動を行いました!

まつさかチャレンジプレイス希望の園 和太鼓グループ 響座いなせ組

オリジナルグッズの販売をしました! 追々の演奏を披露! ユニバーサルデザイン「夢現」 国際CANつぶし協会

鈴の音市賞状賞! パズルなど実施しました。 缶つぶしゲームで盛り上がりました!

登録団体もたくさん出店しました!

モモッ

告知 募集

普通救命講習 開催

(修了証あり)

人命に関わる状況に直面した時、あなたは冷静に対処できますか? 9月は防災の日(9/1)もあり、全国的にも“防災”への意識が高まります。これに合わせ、当センターでは松阪地区広域消防組合消防本部から講習担当者を招き「普通救命講習」を実施します。講習終了後には「修了証」が発行されます。無料で参加できますので是非お申し込みください。こうした講習は定期的に受講することで知識や経験として身に付きます。すでに修了証をお持ちの方も、2~3年での定期的な更新をお勧めいたします。いざという時のために適切な対応を身につけておきましょう。



9月28日(水) 18:00~21:00 **参加無料**

【場所】松阪市市民活動センター
【定員】30名程度 ※9月21日(水)までにお申し込みください。

申込方法

【メール】件名を「普通救命講習申込み」とし、「氏名」、「住所」、「性別」、「生年月日」、「普通救命講習受講歴」、「連絡先」を明記の上 [katsudou@ma.mctv.ne.jp] まで送信してください。

【お電話】お電話で必要事項をお伝えください。【0598-26-0108】

【FAX】センターに設置の申込み用紙に必要事項をご記入の上、申込FAX番号に送信してください。【0598-25-3803】

報告

打ち水大作戦 2011

実施しました!



夏らしく浴衣や甚平に着替えたセンタースタッフは、午後2時より打ち水を開始しました。開始前に気温を計測すると37℃と猛烈な暑さ!しかし、打ち水後にはなんと30℃まで気温が下がりました!きっと風通しがよかったのだと思いますが、参加者一同驚く結果となりました。



この取り組みに、今年も松阪市自治会連合会、松阪市商店街連合会に賛同を頂きました。また“私たちも打ち水します!”という「打ち水人宣言」も、昨年の107件を大きく上回る225件をお寄せいただきました。改めてお礼申し上げます!節電が呼びかけられる今年の夏はエネルギー問題に対して大きな関心が寄せられています。そんな今だからこそ、江戸時代から伝わる打ち水など昔ながらの知恵を活かし、楽しみながら環境意識の啓発を広げていけるといいですね。

【打ち水大作戦】 <http://uchimizu.jp/>

身近なCSRを探して vol.8

農業を通じて地域に元気と笑顔を

クラギ株式会社は、日本で初めての農業用品専門店として「農業屋」を展開し、農業を通じて地域と連携した企業活動をしています。例えば農家が自分で値段をつける、農産物直売所「産直市場みのり」。これは農家の新しい販路であり、消費者とつながる場でもあります。そこに直売所スタッフが消費者のニーズや品質向上のためにアドバイスを送ることで、お互いの信頼が深まり、より良い農産物の提供にもなります。また農家の方が講師を務める農業体験があり、地域の子もたちへ農業の大切さや収穫の喜びを伝えています。ここでは消費者から声が直接聞けたり、農産物の購入に繋がったりして、農家にとってやりがいのある取り組みとなっているようです。

また昨年春からは「お客様の声」でスタートした家庭菜園教室(※)を月に2~3回、無償で開催しています。内容は店舗スタッフがプランターなどを使った手軽なたねまき教室など。昨今の家庭菜園ブームもあり参加者は多い時、20人以上、幅広い年代の方に支持されています。参加者からは「分からんことも答えてくれるし、家庭菜園初心者には心強い」「次にお店に行った時でも気軽に話しかけられる」という声もあります。そして家庭菜園教室を通じて、店舗スタッフと参加者が仲良くなり、良いコミュニケーションが生まれています。こういった消費者や生産者の顔が見える社会貢献活動を続けることが、地域に元気と笑顔を創るのかもしれない。

※1:入会費・年会費無料のケータイメール会員「びよびよ菜園クラブ」にご登録いただくと、どなたでもご参加いただけます。申込みはこちらから… <http://www.kuragi.co.jp/piyopiyo.html>